

光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2016年2月号>

107号 2016.02.01 配信

寒いですね。暖冬だと言われていましたが、1月の終わりには沖縄でも雪が降りました。雪の多い地域の方、雪に慣れていない地域の方、皆さま足元には気をつけてくださいね。春が待ち遠しいですね。そして『2月13日は葉っぱの集い』です。たくさんのご参加をお待ちしています！

■同窓会日より

ワーキング10周年記念：葉っぱの集い

光葉ワーキングネットワークは2006年に発足し、10周年を迎えました。スタート時の思い出話、もう一度参加したいセミナー、そしてこれからやってみたい事「葉っぱの集い」でおしゃべりしましょう！

4つのワーキングに参加している方、メルマガを読んでいる方、どんな仲間がいるか気になる方、卒業生ならばどなたでも参加できます。お待ちしております！

- ・日時：2016年2月13日（土）16時から18時
- ・会費：2000円（オードブルとワイン、スイーツ、フルーツ etc…）
- ・会場：昭和女子大学学園本部3階大会議室（会場変更しました！）
- ★お楽しみ企画①「プレゼント交換」おひとり1000円前後の「誰かにあげたい」モノをご持参ください。おうちにある「誰かにあげたいもの」でもOKです！
- ★お楽しみ企画②「みんなで踊ろうフラダンス」フラのミニレッスン

- ・申込方法： E-mail working@swu.ac.jp で

昭和女子大学光葉同窓会事務局まで

お知らせ：例年行っております、3月の小学校教職員ネットワーク「新卒者の激励会」は諸事情により行いませんので、ご了承ください

■大学からのお知らせ／公開講座・イベント

【協定大学連携講座、特別公開講座】

講師：チェット・チェアリ教授（カンボジア王立プノンペン大学学長）

※英語での講演（日本語による通訳有）

2月2日（火）16:30-18:00 大学1号館2階2MB3

「カンボジアにおける教育改革：特に高等教育と王立プノンペン大学に関して」

2月3日（水）15:30-17:00 大学1号館2階2MB3

「ASEAN 人権宣言とプノンペン声明：歴史と挑戦」

→申込方法等、詳細は下記ホームページと添付ファイルをご参照ください。

http://univ.swu.ac.jp/course_events/2016/01/13/18009/

【現代ビジネス研究所公開講座】

2月6日（月）15:30-17:00 @80年館西棟5階5L44教室

「環境問題をめぐるリスクコミュニケーション」

講師：上智大学地球環境学研究科 教授（法学博士）織 朱實氏

→申込方法等、詳細は下記ホームページと添付ファイルをご参照ください。

<http://univ.swu.ac.jp/news/2016/01/14/18019/>

■2016年度 社会人メンター春募集のお知らせ

募集期間：2016年3月14日（月）～3月31日（木）

応募要件：原則3年以上の社会人経験のある女性

応募方法：募集期間中、本学ホームページ <http://univ.swu.ac.jp/> よりご応募ください。

選考方法：書類審査のうえ、面談させていただきます。

社会人メンターネットワークについては、下記ホームページをご参照ください。 <http://dream.swu.ac.jp/recruitment>

■早川書房と昭和女子大学の学生が共同で制作した小説レーベル第4弾

カリーナ・アクセルソン著『モデル探偵事件録——アクセル、パリを駆け巡る』が1月22日に刊行

*詳細は 昭和女子大学HP お知らせ／公開講座・イベント参照

■広げよう光の葉

グレイまり さん

1987年 家政学部生活美学科卒

(アメリカ合衆国マサチューセッツ州アマースト在)

「将来を担っていく 子供たちと常に学び、毎日一緒に成長していくこと」

昭和女子大を卒業してから、既に28年の年月が経ちました。現在、私はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の西部にある、小さな大学町アマーストに暮らし、大学付属のプリスクールを先生をしています。息子は大学2年生、娘は高校最後の年、まさに、私は子供たちの親離れ、巣立ちの世代(エンプティネスター)になろうとしているところです。

1987年4月、大学を卒業後、私は大林組という大手の建設会社に入社しました。5年近く東京本社で勤めた後、結婚して日本を離れました。タイの首都バンコクに半年、アメリカ東部に4年、その後再び1歳の長男をかかえて、香港、バンコクへと国際引越しを続けました。娘はバンコクで生まれ育ち、子供たちはインターナショナルスクールで、大変素晴らしい初等教育を受けることができました。この国際的な生活の中、私は必要に迫られて、プリスクールの先生をすることになりました。昭和女子大では建築や、美学を勉強したのに、幼児教育の先生になるなんて、と最初は思いがけない気持ちでありました。英文科でもない私が、毎日英語を使って子供たちを教え、一緒に学び、遊び、成長してきて、早くも20年近くになるのです。この間、アメリカの大学の教育学部の修士課程の勉強もしました。昭和で学んだ美学や、建築の勉強も、クリエイティビティを必要とする幼児教育者として、実は大変に役立っています。今では、小さな子供たちの教育者として働くことが天職であったと毎日感謝な気持ちでいっぱいです。

現在勤めている学校は、マサチューセッツ大学付属の幼児教育施設であり、実に国際的な環境です。私のクラスの子供たちの大半は、親の勉強や教鞭のために、世界各国からここアマーストに移り住み、学校に通ってきているのです。この小さな町で、世界各国からの子供たち、そしてその家族の人達と関わることによって、私自身も視野が開かれ、少しでも国際理解向上の一端を担っているように思えます。日本、タイ国、香港、アメリカとどこにいても、私が常に学んできたことは、“将来を担っていく子供たちと常に学び、毎日一緒に成長していくことが 教師としての特権、使命である”ということです。

End

